

事業計画書

| | |
|-----|------------------------------|
| 事業名 | Jキッズ 子どもまつり事業 |
| 団体名 | 特定非営利活動法人子どもの環境を守る会 Jワールド |

★貴団体が申請する事業について、
お伺いします。

1. どのような地域課題を解決したいのか、その現状や背景などについても含めて記載してください。

現在、少子高齢化が進み、地域の子どもの会の減少や地域の方との異年齢交流が減少してきている。そのため社会性や思いやりの心を失った子どもたちが多く、犯罪の低年齢化や登校拒否・学級崩壊などの問題が起きている。また、「考える力」を養う機会が少ないため、生きる力、自主性を失い、何に対しても無気力な子どもたちが多い。

2. それらの課題を解決することで、どのような地域にしたいのかを記載してください。

世代間交流や地域の方々との交流により、同世代間だけでは養いきれない社会性、協調性、思いやりの心を育てる事が出来る。結果、犯罪の低年齢化や学級崩壊などの減少につなげていく。

また、「考える力」を養うことで、創造性や自主性を持ち、社会に積極的に貢献出来る子どもたちに育てることが出来る。このような次世代を育てる事で、地域を活性化させ、上記の問題を積極的に改善できるものと考えている。

3. どのような地域課題の解決につながるのかが、分かるように事業内容を記載してください。

・事業内容

・子どもたちが内容やルールなどを自ら考えたゲーム、イベント、模擬店を提供する。

1から子どもたちが考え、子どもまつりを作り上げていくことで自信が付き、さらに自主性、積極性を育てる事ができる。

・実施日 平成23年7月開催予定

・場所：新松戸SRCビル2階、3階、及びプレスクールひかりの子

・参加者にゲーム券を購入していただき、収益金の一部は義援金として国際飢餓対策機構へ寄付する。

参加者が楽しみながらボランティアにも参加することが出来るため、地域の方のボランティアに関する意識を高める。

・広報活動としてチラシ作成をし、地域の^{小学校}に配る。また、コアラテレビの取材依頼、町内会、商店街への宣伝、月刊新松戸など地域の情報誌へ情報提供をしていく。広報活動を昨年以上に活発に行いたい。

・異年齢の方々に協力していただき実施する。様々な年代との交流により、社会性、協調性を身につけることが出来る。また、地域の方に活躍していただく場所を提供することが出来る。

・実施する場所の町内会に子ども会がない。過去に町内会の敬老会へ参加した実績があり、高齢者との関わりはあるが、地域の子どもたちやそのほかの世代との交流がない。子どもまつりを町内会との連携で行う事で、Jキッズが子ども会の役割を果たし、地域に貢献していけたらと考えている。

・前回のぼり旗を2枚作成したが、道に迷う人がいたため、今回は道案内用に旗を作成する。

まふい

・想定スケジュール（事業内容について、具体的な取り組みを下記のとおり記載してください）

| | 具体的な取り組み | 実施体制、対象、場所など |
|---------|-----------------------------------------------------------------------|-----------------------------------------------------------------------|
| 4月～6月 | ゲームの内容、配置・担当決め 模擬店の内容・販売金額決め 物品の準備・ボランティアの手配・宣伝 道案内用の旗を作成・購入 | Jキッズのこども達(小学生)と中高生のボランティアが中心で行う。月3回(土)10:30～12:30に活動して準備する。場所：SRCビルにて |
| 7月～9月 | 子どもまつり直前準備・当日準備 中間報告 | Jキッズのこども達・中高生・地域の方々のボランティアとともに 場所：SRCビル2階・3階・プレスクール |
| 10月～12月 | 決算など | |
| 1月～3月 | | |

4. 事業に取り組む上での達成目標を記載してください

※事業目標は、できるだけ数値などを用いて、具体的に記載してください。

目標受益者人数 150名とする。(昨年度の1.5倍)

チラシ作成・配布場所をさらに増やし、弊事業を昨年以上に広くアピールすることで、受益者人数を増加することが出来、登録人数を増加させることが出来ると見込まれる。

その結果、さらに事業内容を充実させ、活性化でき、さらなる三世代交流、地域の方との交流の場を広げていけるものと考えている。

地域の子ども会の役割を担い、子どもの活動に活気がなかった地域を活性化させるとともに、さらに広く弊事業の働きを知っていただき、町内会との連携を取っていけるようになる。

地域の方々に世代間交流の場を提供し、地域に貢献する。

5. 助成金終了後、どのような活動に取り組むのかを記載してください。

地域の子ども会的な役割を担い、より地域と連携を取り、貢献していく。町内会との連携から、さらに大きな地域の働きへと今後拡大していきたい。

この事業において様々な年代のボランティアが参加してくれると見込まれるが、その後さらに通常の活動のボランティアに巻き込み、地域の方が活躍する場を提供する。

三世代で様々な活動を出来るようにしたい。

事業の予算計画書

【収入】

| 申請者 | (自己資金) | 金額 | 積算内訳 |
|-----|----------------|-----------|------|
| | ゲーム参加費 | 15,000 円 | ✓ |
| | 自己資金合計 (a) | 15,000 円 | |
| 市 | 助成金申請額 (b) | 100,000 円 | ✓ |
| | 収入合計 (c) (a+b) | 115,000 円 | ✓ |

【助成金申請額 (b) チェック項目】

1. 対象となる経費 (d) 欄の 90%以内
2. 1 事業あたり 10 万円以内

【支出】

| 交付対象経費 | 項目 | 金額 | 積算内訳 |
|--------------|-----------------------|-----------|---------------------------------------------|
| | チラシ・ポスター・広報 | 30,000 円 | ✓ チラシ ^{5/1000} 3,000 枚 ポスター30 枚 |
| | 会場使用料・機材レンタル料 | 12,000 円 | |
| | 道案内用のぼり旗・T シャツ他 | 27,000 円 | |
| | 保険料 | 12,000 円 | 150 人×80 円 ✓ |
| | 通信費 | 4,000 円 | 80 円×50 通 ✓ |
| | 消耗品費 (模擬店・ゲーム材料代他) | 30,000 円 | |
| | 対象となる経費合計額 (d) | 115,000 円 | ✓ |
| | その他 | 円 | |
| その他経費合計額 (e) | 0 円 | | |
| | 事業費 (f) (d+e) | 115,000 円 | ✓ |